

平成27年度(大道小学校)環境教育出前講座「みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた」の実施報告

はじめに

- 平成24年度から実施している「地球温暖化と交通」に関する環境教育出前講座について、1月25日に大道小学校で開催しました。同校では昨年度に引き続き2度目の開催です。同じ学校で連続して実施するのは初めてのケースです。
- 大道小学校では、昨年度と同様、校長先生自らに講師をしていただく方法で授業を行いました。授業に先立ち、先生と横浜市とで昨年度の課題を話し合いながら、実施方法の見直しも行いました。

1 出前講座の概要

- 京急逗子線六浦駅から約500m北側に位置する横浜市立大道小学校(金沢区)にて、交通手段の選択と地球温暖化との関係を学習する出前講座を開催しました。
- 6年生を対象に、「座学」と「個人ワーキング」の授業を展開しました。
- 市が用意した教材を用いて、校長先生を中心に授業を行っていただきました。

テーマ みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた

目的 地球温暖化のしくみ及び交通手段の選択と地球温暖化の関係について、座学で「学ぶ」とともに、個人ワーキングを通じて「考える」。

実施日 平成28年1月25日(月)
1校時 9:00~9:30 座学
2校時 9:30~10:30 個人ワーキング

対象者 大道小学校6年生(2クラス)

【大道小学校の位置と交通の特徴】

- 六浦駅から徒歩約7分、金沢八景駅からバスで約7分。
- 金沢八景駅から京急本線で横浜都心部まで約18分。



2 出前講座の内容

- 出前講座では、「①交通手段の選択と地球温暖化との関係を学ぶ」、「②自分たちの日常生活の中での“かしこい移動”を考える」ことを目標に、以下の内容で2時間の授業を行いました。

座学 交通手段の選択と地球温暖化との関係を学ぶ

内容 パワーポイントを用いた、2クラス合同での座学の授業

配慮点 子供たちが自ら参加する雰囲気をつくるため、授業途中でクイズを行う等、自分の考えを発言する機会を多く設けています。

教材 座学用冊子(A4版12ページ)
モビリティマネジメント学習マンガリーフレット(A4版2ページ、2種類)…など

会場 視聴覚室(2クラス合同)



▼座学用冊子

WG おつかいに行くときの「かしこい移動」を考える

内容 身近なお店や公園に、指定の「おつかい」や「遊び」に行く際の「かしこい移動」を考える個人ワーキング(以後個人WG)

配慮点 昨年度の4人1組のグループワークでは、
①グループ内で意見が分かれてまとまらない班がある
②主体的に関わらない児童が出てしまう
などの課題が見られました。

そのため、校長先生との協議を経て、一人ひとりで移動の仕方を考える「個人WG」の方式を採用することとし、2教室に分かれて実施しました。

子供たちが自分で「かしこい移動」を考えられるように、
①おつかいの内容
②一緒にお出かけする人
③移動するときに注意する点
をまとめ、一人ひとりに異なる「ミッションシート」を配布しました。

個人WGのあとは、あらためて視聴覚室に集まり、2クラス合同での発表会を行いました。

教材 ①個人WG解説書(A4版14ページ)
②書き込み用地図(A3版:右図参照)
③「おつかい」ミッションシート(シール式)
④交通手段カード(シール式)

会場 6年1組・2組の各教室(クラスごと)



MISSION シート③

- 一人ひとり異なるお買物の内容、同行者、移動条件で、配慮する事項をまとめたシートです。
- 一人ひとり異なるシートを渡すことで、「自分の動き方」を「自分で考える」ことを促します。



■書き込み用地図②(書き込み例)

■座学■



2クラス合同の座学

■個人ワーキング■



1組のワーキング風景



2組のワーキング風景

3 出前講座の結果

■座学では・・

- 今回の授業は6年生を対象としているため、ほとんどの子供たちが、地球温暖化のことを「知っている」「聞いたことがある」と答え、また地球温暖化の具体的なメカニズムを回答できる子供もいました。
- 大道小学校の子供たちの多くは、電車やバスに乗ったことがあります、区外まで利用したことがある子供もいました。昨年度の子供たちと同様、身近な移動手段として公共交通が浸透していると感じました。
- 講座の中で、校長先生が「おうちにクルマがあるか」を問いかけたところ、多くの子供たちが手を挙げていました。
- 引き続き、「将来、運転免許を取りたいか」を問いかけると、手を挙げる子供はそれほど多くありませんでした。
- 身近にクルマがあっても、今の子供たちがイメージする行動の中では、クルマが必需品ということではないと考えます。
- 子供たちが大人になっても、変わらずに、「クルマは生活の必需品ではない」と考えてほしいと思います。



■個人ワーキングでは・・

- 個人ワーキングでは、「八景島に遊びに行く」ことと「ベイサイドマリーナにおつかいに行く」ことを「ミッション」とし、さらに一人ひとりに異なる条件を与えました。
- 2クラス合わせて7通りの「移動のしかた」が書かれた地図がつけられました。座学で学んだことを反映させて、公共交通をうまく組み合わせ、環境のことに配慮した提案がある一方で、重い荷物がある、お年寄りと一緒に行く、などのミッションに合わせて、移動が大変な場面でクルマをうまく使う提案も見られました。
- 横浜市の考える【かしこい移動】とは、必ずしも「二酸化炭素を出さない」ことに固執するものでなく、その時どきの状況に合わせて、電車も、バスも、クルマも、自転車も上手に組み合わせて使うことを言います。
- 子供たちの提案は、まさに条件に合わせて【かしこい移動】を自分たちで決めることができていると思います。

■子供たちのつくった地図



4 出前講座の実施結果を踏まえた今後の進め方

■今後の進め方

- 今回の出前講座では、従来の「グループワーク」から、一人ひとりが考える「個人ワーキング」の方式を採用しました。
- 全員が「かしこい移動」を考えることができた一方で、普段の電車やバスの利用状況や、これまで八景島・ベイサイドマリーナに行った経験の有無などで、内容の理解にかかる時間に個人差があり、短い個人ワーキングの時間内に最後まで終われなかった子供もいました。
- 今後、「グループワーク」と「個人ワーキング」の両方のやり方を選択できるようにしながら、他の学校への横展開や、同じ学校での連続開催なども視野に入れ、取組を継続していきます。
- また、自宅でも家族と講座の内容をお話してもらえるように、モビリティマネジメント（以後MM）日めくりカレンダーや神奈中バス パーパークラフトなど、プレゼントを一人ひとりにお渡ししました。この取組についても、子供を通じた大人へのMMの周知の観点から続けていきたいと考えています。
- なお、講座を終えたあと、子供たちの「授業のふりかえりシート」を送っていただきました。クイズのこと、個人ワーキングのことなど、楽しかった記憶とともに、少しでも【かしこい移動】のことを覚えていてもらえると嬉しく思います。



■「ふりかえりシート」の抜粋

○今日の勉強の感想を書きましょう。

今日、授業を通して、地球温暖化についてくわしく知ることができました。
私は、温暖化についてあまり知らなくて、ニュースなどで聞いても「ふうん。」とは思っていませんでした。
でも温暖化の話聞いて、乗り物に乗る優先順位を考えたり、なるべく生活の中で二酸化炭素を使わないようにするが、改めて考える必要があるな、と感じました。
これからは地球温暖化にならないように、私たち一人一人が気をつけて生活していきたいと強く思いました。

○今日の勉強の感想を書きましょう。

今日、夏がどけたけ、地球に悪いのが分かりました。
車が、バスよりも、電車よりも、二酸化炭素を多く出している事を知りました。また、クイズを通して、いろいろな事を知りました。来て下さった3人の方達が、学年全員一人一人のパンフレットなどを作っていただき本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、そのパンフレットでは、楽しみなから、ミッションを成功させる事ができました。
ほくは車に頼る事が多いので、これからは、近いうちに、自転車、遠ければ、電車やバスを頼ってみたいです。

○今日の勉強の感想を書きましょう。

今日は、前日校長先生が地球温暖化について分かりやすく、おもしろく伝えてくれたり、後半は、おびかけミッションをやりました。その中でハッと気づいた事は二つあります。
一つ目は、地球温暖化の一番の原因は森林が、CO2の排出するから、だいたいということ。これを学んで、緑を大切に、クルマを使わないようにしたいです。二つ目は、おびかけミッションです。おびかけミッションでは、行く人、荷物、お題によって考え方がいろいろと変わりました。この授業を受けて、温暖化について考えるように、おびかけミッションです。

○今日の勉強の感想を書きましょう。

地球温暖化という言葉は聞いたことがあったけど、どういう仕組みとか、なんでそうなりそうなのかが原因が分からなくて、とても勉強になりました。
クイズ形式で勉強したのもとても楽しかったしおもしろかったです。八景島に行ったりおゲームは二酸化炭素を少なくして行けるかを考えたのがおもしろかったです。これから生活は、せつ約して、暮らしたいと思いました。